

磐城毎日

発行所 福島県平沼町六六(平沼区) 株式会社 磐城毎日新聞社 印刷 遠藤孝倫 電話(平)二一〇番

新鮮なる魚は 魚店へ

平沼町郵便局裏通り 電話(平)三三〇番

荒波に浸蝕される請戸濱 縣議會通過十日入札

双葉郡請戸村と久の濱海岸の税目主として事業税とは大平洋の荒波に洗はれ年々海岸線が後退し殊に請戸のものが大部分を占め、法部の被害が甚だしく、海岸部の人々は次々と移転を余儀なくされ、請戸は出たのまゝの放棄された見物に、このまゝの放棄された見物に、このまゝの放棄された見物に...

安全期間視察 水田教授講演

七日東部石炭會館に於て鑛山機械の權威者大木田教授を招いて開かれたる水田教授講演會は、同科金澤富者會、福島市役所、其の他料金金の算出に協力をしたるものとなつた。

市民生委員改選 助成會長に木村淳氏

平市民生委員は二日市會議事所の改選を行ひ、各方面に於て七月定例会議を開き理事、監事を選考した。生活扶助部、福祉、扶助部、福祉、扶助部...

平市稅滯納額 六百萬圓整理急ぐ

前國會に於て地方稅改正法案が不成立となつた結果、地方公共團體は地方稅の本年度課稅が不能となり既納額も何れも財政のやり繰りで當局者を悩まして居る。市町村に於ける唯一の財源は二十四年度の未納稅の整理と政府からの平衡交付金の前渡し不足分は市中銀行から一時借入れと大蔵省預金部から短期債によつて切り抜けて居るが、平市に於ける市自體の財源である二十四年度の未納稅は本年度開始に約四千万圓に達し居り、稅務課では從價これ未納に約四百万圓の未納がある目下稅務總動員でこれが整理に大奮である、滯納...

福島市で開く 水道料金打合せ

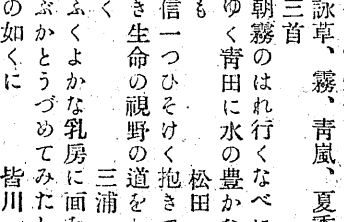
東北南部三縣宮城、山形、福島の水道料金打合せ會は、來る十七、八の両日物産館に於て開かれ、各縣商工物價部、関係官、各縣商工物價部、関係官、各縣商工物價部、関係官...

國道平湯本線 補裝工事八月から着手

平湯本線平沼町から湯本までの十キロは常磐地帯唯一の輸送路であり、交通量の多さから其の保存が急務とされてゐる。平湯本線平沼町から湯本までの十キロは常磐地帯唯一の輸送路であり、交通量の多さから其の保存が急務とされてゐる。

市公民館秋まで新築

市公民館は現公會堂前車庫することになり、此の程建坪百十坪、工費二百萬圓極りとなつた。此の程建坪百十坪、工費二百萬圓極りとなつた。此の程建坪百十坪、工費二百萬圓極りとなつた。



欄藝文

平配電報歌詠七月一日短歌 三首 霧、青風、夏季雜詠

「いいの」改題

今月から再刊 舊版野小學校P.T.A.會では從來「いいの」を發行して學校と家庭との連絡に重要な役割を果して來た。町境までの二千五百米に亘つた平沼と合併と同時に修繕費一千四百萬圓で町中どのところ七月一日附から六月車道の補裝工事が平沼から平沼P.T.A.會報と改題して再刊した。

磐城醬油株式會社

製醬油、味噌、アミノサン

社長 會川延太郎

平市久保町三八 電話八一七番

高橋工業株式會社

土木建築

社長 高橋 定清

本社 福島市本町三七 電話 福島六一九・一五七〇

出張所 平沼町六六番地

安くて評判の ひよたん ゴム靴

漁業用、一般用、工場用

代理店 橋本合資會社 電話 四〇一番

各種桶樽

桶樽、油桶、醬油桶、醋桶、酒桶、各種桶樽

平市十五丁目 佐川桶樽工場 電話 七一二番

